

2025 年の総会が迫る 3 月 1 4 日金曜日。僕は今日、先日の土曜日に休日出勤したので、その代休。早朝から H F は、30mBand でコモロ島 D68Z、20mBand では仏領ギアナ FY/PY8WW。両方とも J A のパイルアップだが、こちらには両者とも、待てど暮らせど全く入感無し。くっそ〜。 と思いながらハイバンドへ Q S Y。残念ながら今朝のハイバンドは、ちらほら近場の D X が入感するくらいで、あまり良くない。

5 時 3 1 分、10mBand から 6mBand の F T 8 周波数へ、期待をせず 50.313MHz に Q S Y した。少数の J A が、ブラジルとアルゼンチンを呼んでいる。そのままワッチする。

5 時 3 8 分、PY(ブラジル)が入感。すぐに呼ぶが応答は無い。

5 時 4 1 分、LU(アルゼンチン)も入感。だがこちらにも応答無し。パイルが段々激しくなってきた。

5 時 5 0 分、どちらも落ちてしまったので、また上がってくるのを期待してワッチを続ける。その後も時々、ちらほら入感する程度だ。呼んでも応答なし。

5 時 5 9 分、ZL(ニュージーランド)が入感。HB9CV を垂直偏波で南南東へ向ける。

5 時 1 5 分、ZL も応答が無い。が、ZL1RS を呼ぶと 2 回目でコールバックがあり交信成立。

5 時 1 8 分、方向はそのまま CE(チリ)と LU(アルゼンチン)が良好に入感してきた。普通は東向きなのだが、南方面から入感しているので、その方向で CE(チリ)を呼ぶ。

5 時 2 1 分、CE3MRO からコールバックがあり、交信成立。次に PY(ブラジル)を呼び始める。

5 時 2 8 分、PY3SOL からコールバック、交信成立。次はアンテナを東方向に戻し、CE(チリ)を呼ぶ。

5 時 3 9 分、CE2SV を呼んでいたら、別のチリ局 CE3SX から呼ばれ、すぐに応答し交信成立。また引き続き CE2SV を呼ぶ。

5 時 5 4 分、しかし応答が無く、LU(アルゼンチン)が入感してきたので LU6ETB に切り替える。が、やはり全く応答が無い。そのまま呼び続ける。

6 時 9 分、やっと LU6ETB からコールバック。だが、その後のこちらからの電波が届かない。2 回コールバックの後、別の局に行ってしまった。くっそ〜。でもまだ呼び続ける。

6 時 1 2 分、LU6ETB から「RR73」が来て交信成立。

6 時 2 5 分、チリの CE4MBH が入感したので呼ぶと、一発でコールバックがあり交信成立。

今日の朝、50MHz で南米方面、チリ 3 局、ブラジル 1 局、アルゼンチン 1 局と交信。さすが F T 8 とサイクル 2 5 の全盛期だ。この超長距離伝搬は E スポでは無く F 2 層伝搬だろう。6m で初めて経験する地球の裏側との交信、これからも楽しい 6mBand だ。